

環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
成果報告会 発表資料

活動団体名：おわせ S E A モデル協議会

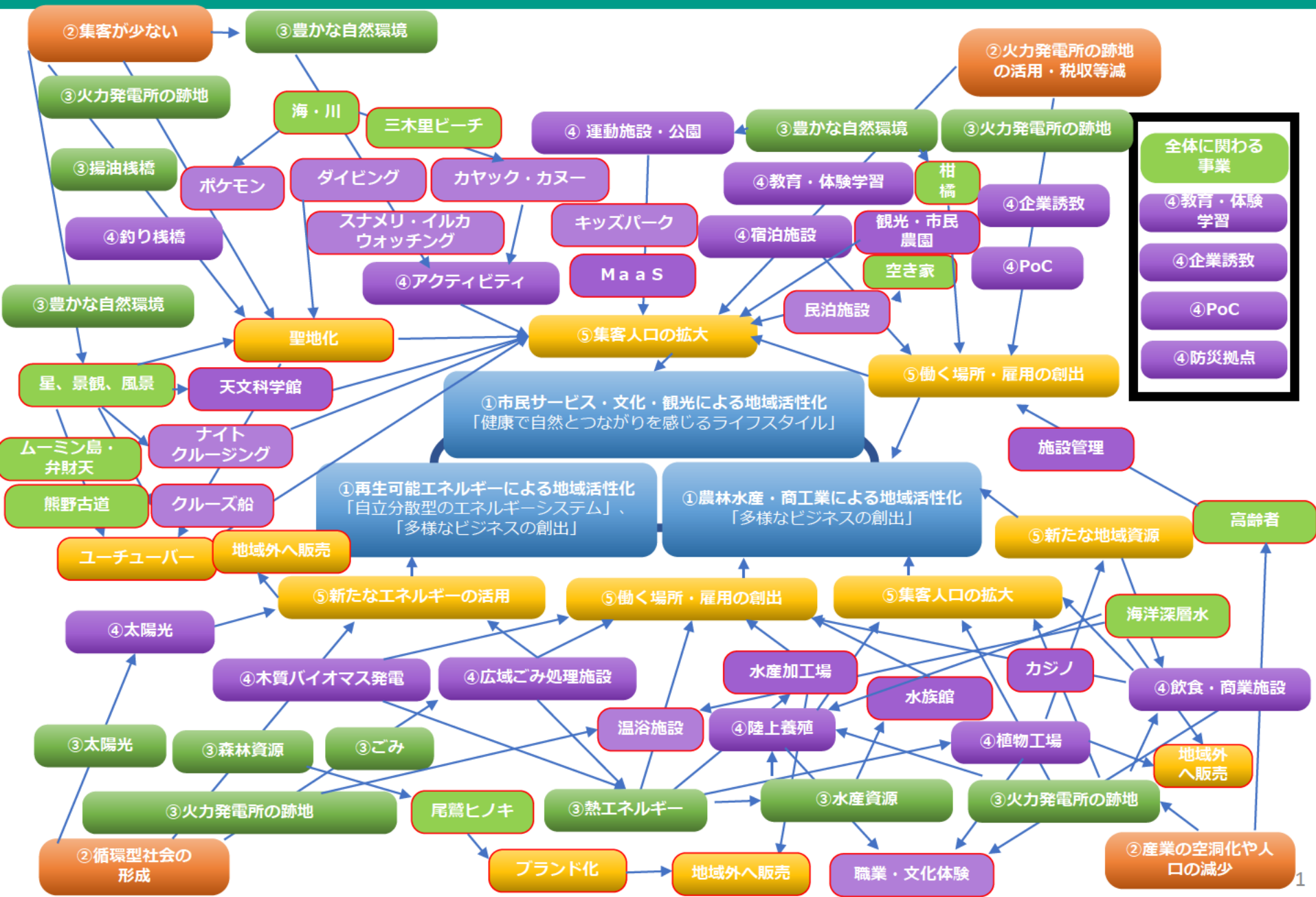
活動地域：三重県 尾鷲市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

おわせ S E A モデルを活用した

「ふるさと尾鷲」の復活

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

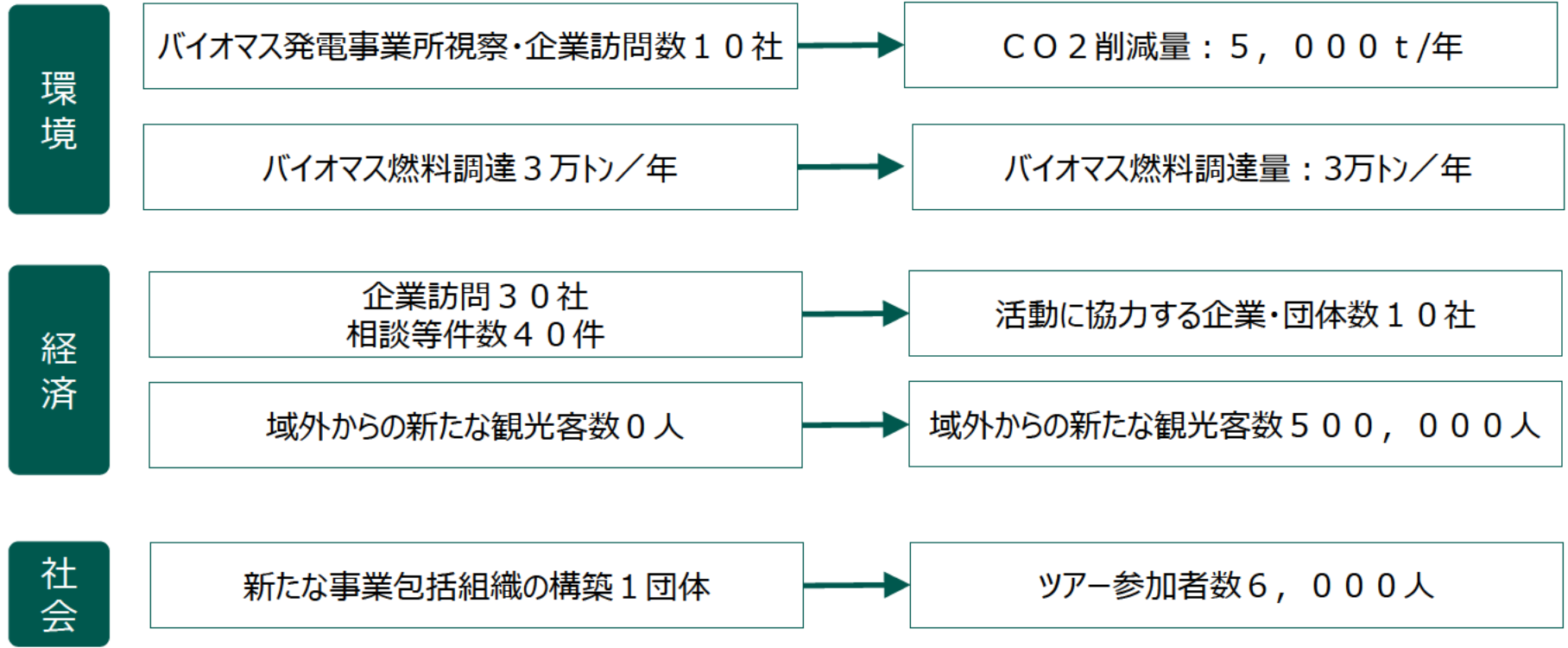


地域のビジョンを実現するための成果指標

半世紀にわたり地域経済を牽引した中部電力(株)尾鷲三田火力発電所の63万4千㎡の広大の跡地を活用し、尾鷲市・尾鷲商工会議所・中部電力(株)の3者がスクラムを組み、プロジェクトS（市民サービス・文化・観光）、プロジェクトE（エネルギー）、プロジェクトA（農林水産・商工業）の連携による新たな地域再生モデル「おわせS E Aモデル」を創り上げることで、地域再生に悩む地方公共団体の先駆的モデルを提示するとともに、地産地消エネルギーの利活用による地域循環型社会の構築と魅力的なサービス開発による集客交流人口の増加によるシナジー効果によって少子高齢化・人口減少で悩む地域の活性化を目指す。

短期目標

長期目標



コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	プロジェクト-S（市民サービス・文化・観光事業）	
	事業の概要	<p>広大な発電所跡地をハブとし、既存の資源（海・山・川・歴史的遺産など）を活用したアクティビティ事業（カヤック・ウォーキング・サイクリングなど）を推進することにより、域内はもちろん、広域連携を見据えた上で持続可能な地域循環型社会の構築を目指す。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドを束ねることが出来る組織の構築 ・ガイドの育成 ・体験メニュー開発 ・収益的事業の構築 ・広域連携による事業展開
2	事業の名称	プロジェクト-E（エネルギー事業）	
	事業の概要	<p>東紀州地域の森林資源を活用した林業活性化や、間伐材など未利用材の資源化による森林保全などの林業振興をはじめ、地域の雇用経済に対する多くの効果が期待される木質バイオマス事業を行うとともに、木質バイオマス発電から排出される熱やCO₂など未利用エネルギーの有効活用による脱炭素社会、循環型社会を目指す。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾鷲周辺地域はバイオマスが乱立しており、燃料となる材の調達が厳しい。 ・小規模バイオマス発電であるため事業性が厳しい。 ・林業従事者の高齢化、人手不足
3	事業の名称	プロジェクト-A（農林水産・商工業事業）	
	事業の概要	<p>広大な火力発電所跡地に、木質バイオマス発電所から排出される熱エネルギーを活用した循環型産業として、アグリ事業（植物工場等）・アクア事業（陸上養殖）を誘致し、地域経済の活性化や雇用拡大を目指す。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地域に陸上養殖・植物工場のノウハウを持つ事業者が存在しない ・当地域に大きな規模の農業生産者が存在しない ・当地域に陸上養殖や植物工場に出資する資金力のある一次産業従事者が存在しない

今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 目標に向けた課題や資源、環境等の整理ができた。
- ビジョンの明確化が図れた。
- 他のプロジェクトとのつながりの見える化が図れた。
- 尾鷲の強みや弱みの再認識ができた。
- プロジェクトの実現に向けたイメージができた。
- ステークホルダーとの関わりを広める深めることの重要性を確認することができた。

今後の意気込み

- 既存の資源を活用しながら、市民とともに一つひとつ創り上げていくことにより、地域内循環はもとより、地域外を巻き込んだ中での事業展開を行うことで、持続可能な循環型社会の構築を図る。
- ビジョンの具現化に向けた基本計画・実施計画の策定（2020年度中）
- ガイドを束ねることができる組織の構築及び体験メニュー開発（2020年度中）
- バイオマス発電事業の具現化に向けた燃料調達活動、事業体制の構築（2020年度中）
- 陸上養殖・植物工場などの実験研究、事業スキーム検討・事業計画策定（2020年度中）

地域の活動の上での課題

- 広大な発電所跡地はあるものの、津波浸水域や商圈などを鑑みると、企業進出のハードルは高いこと。
- 収益的事業の構築や広域連合による事業展開
- 尾鷲市周辺地域はバイオマスが乱立しており、燃料となる材の調達が厳しい。
- 林業従事者の高齢化、人手不足
- 当地域に陸上養殖・植物工場のノウハウを持つ事業者や大規模の農業生産者が存在しない。
- 当地域に陸上養殖や植物工場に出資する資金力が存在しない。